

NPO法人 炭鉱電車保存会・大牟田レイルクラブ 共催

～炭鉱電車写真展～

生きとる、炭鉱電車、を

令和2年

11.23(祝)



11.29(日)

＜協力＞

大牟田市石炭産業科学館、みらい広告出版株式会社

残したか!

また会えるね。

「玉名線宮内駅」にて撮影

会場 あらおシティ・モール 1階 催事広場

開館時間 午前10時～午後5時

観覧料 無料

問合せ 炭鉱電車保存会(会長:藤原義弘)
TEL 090-7446-2202

～炭鉱電車写真展～

生きとる、炭鉱電車、を残したか!



—ずっと、ずっと **炭鉱電車**が好き!—

令和2年5月7日—製造から100年近くもの間、現役で走り続けた機関車（通称炭鉱電車）たちは、その役目を終え引退の日を迎えました。

石炭を運び、日本の近代化と高度成長期を支えただけでなく、客車を引き社宅の人々を運び、みんなから愛されてきた“炭鉱電車”。

今回「炭鉱電車保存会」では、客車が走っていた荒尾市で写真展を開催します。みなさん、あの紅（あか）い“炭鉱電車”に会いに来ませんか。

主な展示内容

- ・炭鉱の大動脈～三池炭鉱専用鉄道～
- ・最後の活躍～三井化学専用鉄道～
- ・蒸気機関車の時代
- ・通勤電車の思い出
- ・懐かしい駅の数々……など。

関連イベント

鉄道模型走行展示



炭鉱電車の鉄道模型が走ります。

とき:11月23日(祝)、11月29日(日)



《会場》 **あらかしティーモール 1階催事広場**

熊本県荒尾市緑ヶ丘1丁目1番地1

●JR荒尾駅からバスであらかしティーモール下車すぐ

●自動車道南関ICから約25分

「NPO法人 炭鉱電車保存会」とは

128年余りの歴史を誇る三池炭鉱専用鉄道の景観と、この鉄道で活躍した電気機関車（通称：炭鉱電車）を後世に残し、地域のまちづくりに寄与することを目的としています。

また、「生きとる炭鉱電車を残したか」のスローガンのもと、「炭鉱電車の動態保存」をめざしています。

現在、NPO法人としての設立認証を得て、活動を展開しています。